

## 政務活動費収支報告書

令和5年4月28日

八尾市議会議長

奥田 信宏 様

議員名又は会派名とその代表者名

日本共産党 越智 妙子

条例第13条第1項の規定により、令和4年度政務活動費  
収支報告書を提出します。

## 1 収入

(単位:円)

項 目	金 額
政務活動費	3,360,000

## 2 支出

(単位:円)

項 目	金 額	
支 出	調査研究・研修費	0
	資料作成費	0
	資料購入費	103,091
	広報費	2,344,210
	広聴費	119,125
	日常活動費	0
	人件費	0
	事務所費	0
	事務費	771,869
	合 計	3,338,295

## 3 収入支出差引残額(返還額)

21,705 円

注) 支出が収入を上まわる場合は、残額欄には0円と記載のこと。

様式第15号（第9条関係）

政務活動費における活動報告書

令和4年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、主要な政務活動内容の概要については、別紙のとおりでありますので条例第14条第1項及び条例施行規程第9条第1項の規定に基づき簡潔に報告いたします。

議員名又は会派名とその代表者名

日本共産党 越智妙子 

## [テーマ・目的]

令和4年度は、新型コロナ感染拡大が波状的に市民に襲いかかり、異常な物価高騰が生活基盤を揺るがす中、八尾市として、いかに市民の命と暮らし、営業を守るかが問われた年でした。一方、岸田政権は、国民生活の実態には目もくれず、12月には敵基地攻撃能力の保有、軍事費の2倍化などを柱とした「安保3文書」を閣議決定するなど、本格的に「戦争する国づくり」の推進に乗り出しました。そんな中、八尾市でも自衛隊八尾駐屯地は、全国約300か所の強靱化計画の中に名前が上がるなど、八尾空港と一体に軍事利用がねらわれていることが明らかになりました。今こそ、「非核・平和宣言都市八尾市から、平和外交の道を」という立場から、日本共産党市議団は、議員団ニュースを年間11回発行し、市民への情報提供に全力を注ぎました。何より平和を守り、市民の命と暮らしを守るため、議会で明らかになった情報をできるだけ早く発信し、市民の声を聞くよう努めてきました。今後も、広報活動に全力注ぎたいと考えています。

## [活動概要]

### 1. 日本共産党市会議員団ニュース

議会の直前、直後を中心に議員団ニュースを発行し、全戸配布や新聞折り込み、駅頭宣伝などを通して市民に配布しました。これらのニュースを通して市政の動向や議会の概要を市民に伝え、市政を身近に感じていただくことができましたと考えています。その内容については、本報告書と合わせて、議会事務局に提出しています。

### 2. はがきアンケート調査

2023年2月に実施した「はがきアンケート調査」では、「今、言いたいこと 私の一言」というタイトルで、1.「八尾市非核・平和都市宣言」に逆行する大軍拡・「戦争する国づくり」について 2. 新型コロナ対応や、第5類への引き下げについて 3. 物価高騰による生活困窮や営業不振について 4. IR・カジノの大阪・夢洲への誘致について 5. その他、ご意見・ご要望など、の内容で市民の声を聞きました。各自、切手を貼って投函していただく形態をとりましたが、60通以上の切実な声が寄せられ、今後の議会活動に生かせる内容が多くありました。

## [成果・課題]

日本共産党議員団は、「2023年度八尾市の施策に対する要望」という総合的な予算要望をはじめ、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金における推奨事業メニューについての要望」など、その時々状況に応じた要望書を提出して、市民の声を市政に反映させてきました。今後も「市民が主人公」の立場で、市民の思い、願いを市政に届け、実現をめざす立場で奮闘する決意です。そのためにも、政務活動費を、より有効に活用していきたいと考えています。